

# 中小企業景況情報

本情報は、県内12商工会で実施した中小企業景況調査の集計結果(179企業)をまとめた

## サービス業

発行・長崎県商工会連合会

長崎市桜町4-1

長崎商工会館8階

問い合わせ先 TEL 095(824)5413

### 〔主要景況項目の動向〕

期	2022年			2023年		
主要項目	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月(見通し)
売上額						
採算						
資金繰り						
業況の動向						



晴 D・I 50.1～100



晴時々曇 D・I 20.1～50



曇 D・I 20～△20



曇時々雨 D・I △20.1～△50

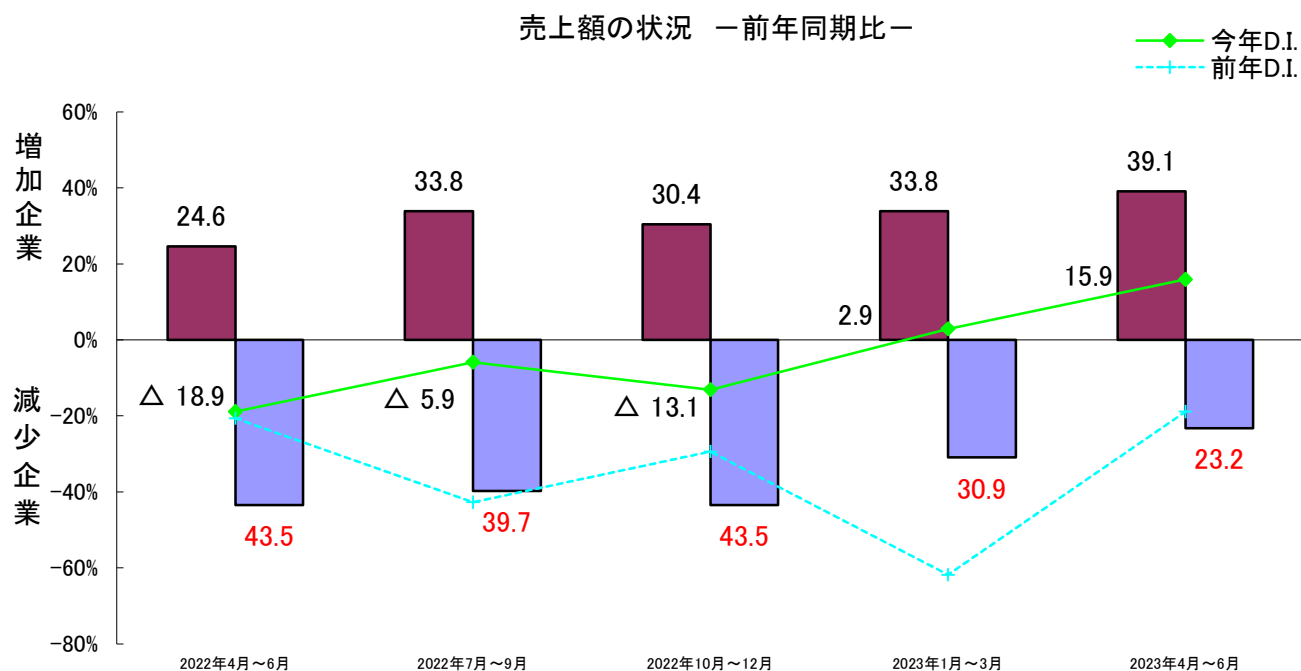


雨 D・I △50.1～△100

### 〔調査対象企業のコメント〕

製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年に続いて引合いはあるが、原材料の価格上昇が続いていて利益が出しにくい状況。設備の修理も多い為、今後の心配がある。【その他のパン・菓子製造業】</li> <li>・ 少しずつではあるが、売上が増加している。しかし、原材料をはじめとする価格上昇により、製品単価の値上げが必要となっている。【めん類製造業】</li> <li>・ コロナ禍で停滞していた受注量も回復し、徐々に活気を取り戻しつつある。物産展等の客足も増え、販売量も増加傾向である。【その他の水産食料品製造業】</li> <li>・ 今年に入って、毎月のように材料価格が上昇している。商品単価を上げざるを得ない。【建築用木製組立材料製造業】</li> </ul>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期は仕掛りがあったので、それを完成させる仕事があったが、来期は新規を契約しないと大きな工事が無い。公共工事も弊社のラックはまだ入札がなく、今後もわからない。【木造建築工事業】</li> <li>・ 県外の仕事が多いので今のところ受注は確保しているが、今後、運送業2024年問題の影響を心配している。【鉄骨工事業】</li> <li>・ 5月は昨年から引き続き工事があったため売上として上がっているが、引合は減少しており、見込みは減少傾向である。依頼時期が重なりやすい時期のため、下請業者の確保が厳しく、納期内に仕事を仕上げるのが困難である。【内装工事業】</li> <li>・ 依然として材料費や経費が上がっていて、これからも上がるとの通知も届いて、見積りも難しい状況である。他の案件も出てきているが、工事する職人も業者も忙しい為、請け難いところである。【一般土木建築工事業】</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上は昨年に比べて微弱だが増加している。とにかく、材料等仕入単価の上昇がこたえており、純利益がどうしても低くなるため、20年ぶりに握り寿司を200円値上げした。【すし店】</li> <li>・ コロナ感染症も2類から5類へと移行し、飲食業界を始め、個人消費も少しずつ回復期にあると思う。売上においても毎月10～15%程伸びてきているが、これも販売単価の高騰が寄与しているので一概に喜べない状況である。【酒小売業】</li> <li>・ 売上額は商品値上がりにより昨年と横ばいだが、その分仕入れ値も大幅に上昇して経費もかかり、コロナの規制緩和で流動性が出て期待していたが、まだまだである。この先、光熱費など値上げ計画もありそうで状況は不安定。【ガソリンスタンド】</li> <li>・ 食品類、光熱費、人件費の上昇が売価に反映できていない。利益の圧迫が続いている。【各種食料品小売業】</li> <li>・ 物価上昇で置替えまでお金が流れてこないと実感している。これから梅雨時期で仕事が少なく、厳しい現実である。【量小売業】</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナが5類に引き下げられ、マスク着用も個人の判断となった。イベントも平常に戻りつつある中、結婚式のお客も増えた。物価上昇に併せた料金改定が困難であると判断、経営改善に努めつつ、景気回復を待とうと思う。【理容業】</li> <li>・ 売上はコロナ前に近い水準まで回復してきているが、仕入単価や光熱費上昇が著しく、利益には繋がっていない。また従業員不足が顕著になっており早急な対応が必要だが、人件費の増加は利益圧迫に繋がる。【料亭】</li> <li>・ 原材料費の上昇がいつまで続くのか不安がある。今後、値上げ等も考えている。【普通洗濯業】</li> <li>・ コロナ制限も解除となり、世間が一斉に動き出した。しかし、仕入価格が上昇してなかなか利益は上がっていない。そして動き出したことに対して人と手が追いついていない状況である。【食堂、レストラン(専門料理店を除く)】</li> <li>・ 利用客が増加し、完全にコロナ前の賑わいを取り戻した。嬉しい反面、コロナ禍の売上減少により、新しく車を購入できないため、車の老朽化を心配している。新車の価格も値上がりしており、困っている。【自動車賃貸業】</li> </ul>

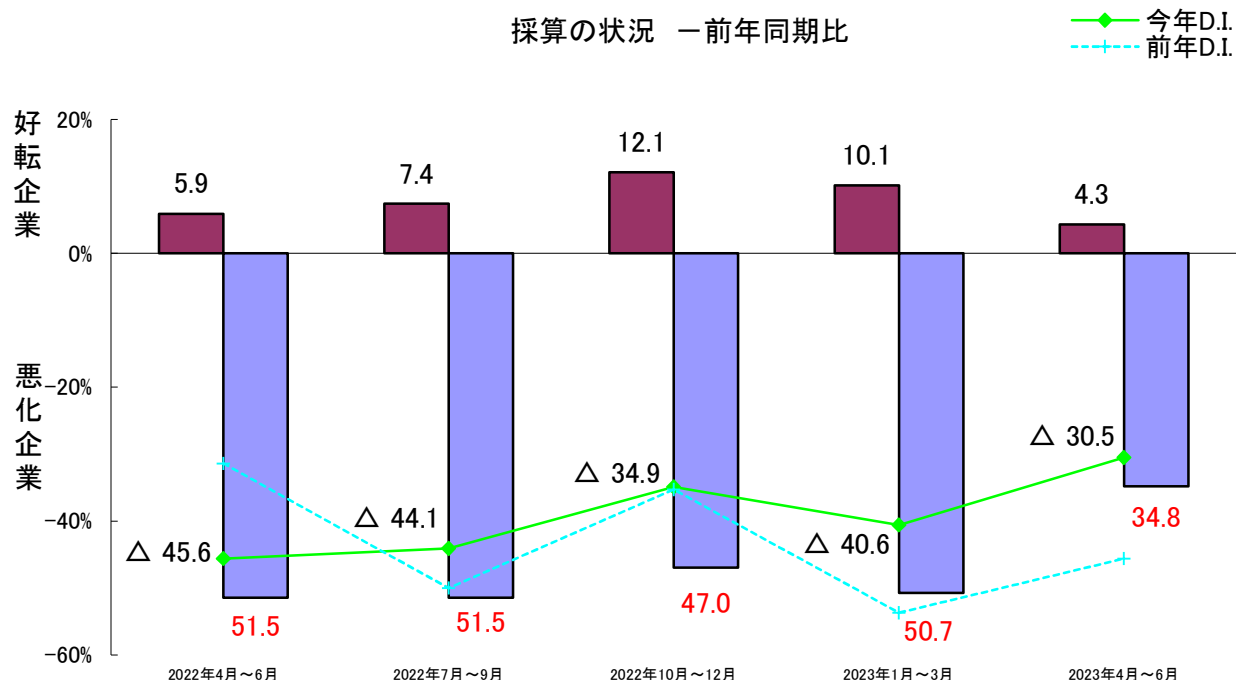
## ①【サービス業】売上の動向



今期、売上が「増加した」と答えた企業は39.1%と、前期の33.8%から5.3ポイント増加した。また、「減少した」と答えた企業は23.2%と、前期の30.9%から7.7ポイント減少した。したがって、今期D・I値は15.9と、前期の2.9から13.0ポイント改善した。

「来期の見通し」では、増加すると予測した企業は37.7%、減少すると答えた企業は13.0%で、これにより来期のD・I値は24.7と今期の15.9より8.8ポイントの改善を予測している。

## ②【サービス業】採算の動向



今期、採算が「好転した」と答えた企業は4.3%と、前期の10.1%から5.8ポイント減少した。また、「悪化した」と答えた企業は34.8%と前期の50.7%から15.9ポイント減少した。したがって、今期のD・I値は△30.5と、前期の△40.6から10.1ポイント改善した。

「来期の見通し」では、好転すると予測した企業は13.0%、悪化すると予測した企業は24.6%であった。これにより、来期D・I値は△11.6と今期の△30.5から18.9ポイントの改善を予測している。

### ③【サービス業】新規設備投資の状況

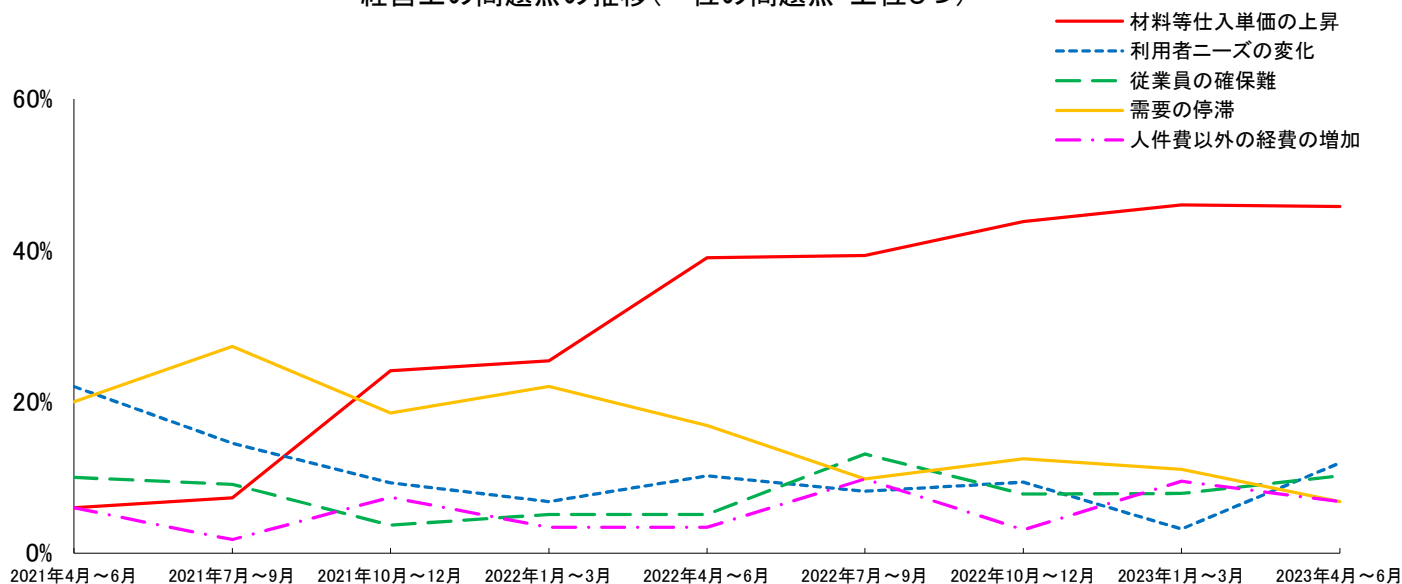
※投資内容は複数回答 (%)

項目 期	実施 して ・ 計 画 る	土	建	サ	車	付	O	福	そ	実施 して ・ い 計 な 画 い
		地	物	ー ビ ス	両 ・ 運 搬 具	帯 施 設	A 機 器	利 厚 生 施 設	の 他	
今 期 (2023年4~6月)	10.1	0.0	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	89.9
来 期 (2023年7~9月)	14.5	10.0	20.0	60.0	20.0	10.0	20.0	0.0	20.0	85.5

今期、設備投資を行った企業は10.1%で、前期に設備投資を行った企業(7.2%)を上回った。来期は14.5%の企業が設備投資を計画している。

### ④【サービス業】経営上の問題点

経営上の問題点の推移(一位の問題点・上位5つ)



今期の経営上の問題点は、第1位が「材料等仕入単価の上昇」で45.8%、第2位は「利用者ニーズの変化」で11.9%、第3位は「従業員の確保難」で10.2%であった。材料等仕入単価が上昇する中で、利用者ニーズの変化に対応していくことが課題となっている。

### ⑤【サービス業】来期の見通し

売上(収入)額			採算			資金繰り			業況		
2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	2023年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
2.9	15.9	24.7	△40.6	△30.5	△11.6	△14.9	△11.6	△1.5	△11.6	△3.0	△1.5
傾向	↗	↗	傾向	↗	↗	傾向	↗	↗	傾向	↗	↗

(注) ↗ 増加・好転、→ 不変、↘ 減少・悪化を示す。

来期の見通しは、「売上(収入)額」、「採算」、「資金繰り」、「業況」のすべての項目で増加・好転を示している。調査対象企業のコメントでは、コロナの規制緩和により来客数や売上が増え、ようやく以前の状態に戻り始めたため、メニューの見直しや内容充実等の工夫をして全体的に底上げしていきたいという声が寄せられている。

# 景況概要

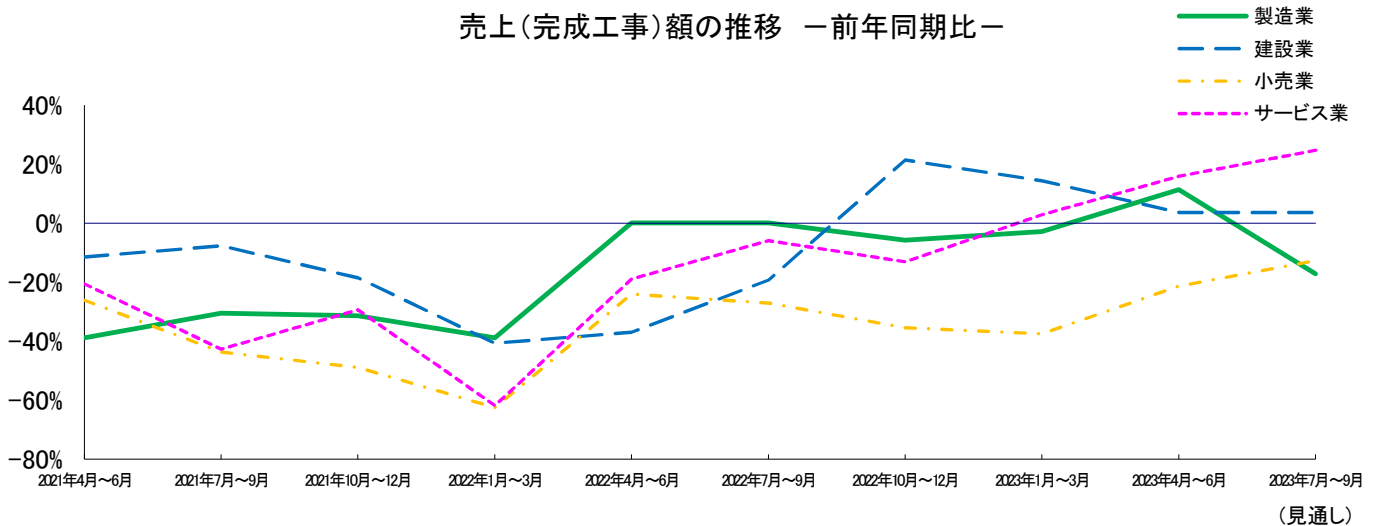
長崎県の全産業

## 【売上】

今期、改善を示したのは、「小売業」（16.2ポイントの改善）、「製造業」（14.3ポイントの改善）、「サービス業」（13.0ポイントの改善）の3業種で、悪化を示したのは「建設業」（10.7ポイントの悪化）であった。

来期の見通しでは、「サービス業」（8.8ポイントの改善）、「小売業」（8.6ポイントの改善）の2業種で改善を示しており、「製造業」（28.6ポイントの悪化）は悪化を示している。また、「建設業」は、今期と変わらないことを予測している。

売上(完成工事)額の推移 -前年同期比-

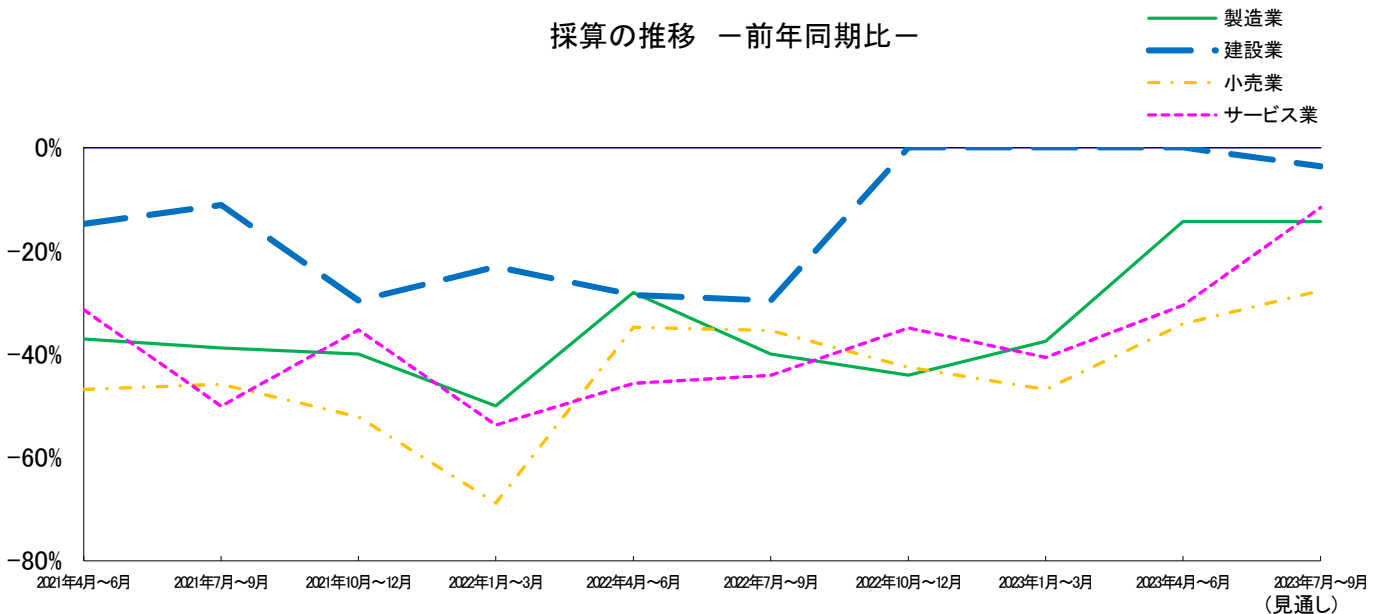


## 【採算】

今期、改善を示したのは、「製造業」（23.2ポイントの改善）、「小売業」（12.7ポイントの改善）、「サービス業」（10.1ポイントの改善）の3業種で、不変を示したのは「建設業」だった。悪化を示した業種はなかった。

来期の見通しで改善を示したのは、「サービス業」（18.9ポイントの改善）、「小売業」（6.4ポイントの改善）の2業種で、悪化を示したのは、「建設業」（3.6ポイントの悪化）であった。また、「製造業」は、今期と変わらないことを予測している。

採算の推移 -前年同期比-



〔注〕本レポートの中で「D・I」とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略です。例えば各調査項目について増加(又は上昇、好転、長期化)と答えた企業の割合から、減少(又は低下、悪化、短期化)と答えた企業の割合を差し引いた値を示す表示です。マクロ指標等では表れにくい経営者マインドを敏感につかむ事ができます。